

飲食オーダー端末の導入で 飲食売上げアップ、人件費削減を実現



マネージャーの国本崇裕氏

POSシステムを2台 オーダー端末を全38室に設置

2015年3月の北陸新幹線の開通により国内外からの観光客で賑わい、活気づく古都・金沢。JR金沢駅西口から徒歩5分ほどの複合アミューズメントビルで営業を行なうのが「カラオケ パラダイス」(ルーム数38室)だ。1階はパチンコホール、同店のある3階には系列のゲームセンターが営業する。運営を行なうのは(株)金沢有馬で、カラオケ店、ゲームセンターのほかコンビニエンスストアなども展開している。

2005年の開店当初、金沢駅西口で営業を行なうカラオケボックスは同店のみであったが、その後、大手チェーンオペレータ2社が進出したことで競合が激しくなっている。

そんな事業環境のなか、同店が「スーパースターシリーズ」のPOSシステムと飲食オーダー端末を導入したのは今年4月。POSシステムについては他社からのリプレイスだが、飲食オーダー端末については今回はじめて全室に導入した。

全室に飲食オーダー端末を導入するには相応の投資を伴うが、同店マネージャーの国本崇裕氏は導入経緯について次のように語る。

「飲食オーダー端末の全室導入は、お客さまのストレス軽減が大きな目的です。以前はオーダーのたびにお客さまが注文を取りまとめインターフォンでオーダーしなければならず、手間をおかしていました。飲食オーダー端末だ

と席に座りながら端末を回して注文できるので、お客さまはストレスなくスムーズにオーダーいただけます。いまはオーダーシステムの時代だと思います。スマートフォンやタブレットがここまで普及しているので、飲食オーダー端末の導入はいまがベストと判断しました。また、今年4月、すぐ近くに大手チェーン店が進出してきたので、競合店との差別化も意識して導入に踏み切りました」。

平日昼間はシニア層の利用も多く、飲食オーダー端末については年配の方が使いこなせるか多少心配もあったが、実際には多くのシニア層が利用しているといい、飲食オーダー端末での注文は約7割に達している。



▲全38室に導入された飲食オーダー端末。シニア層の利用率も高くなっている



▲フロントPOSシステムは2台導入

飲食売上げが約2割アップ スタッフも1人減で

飲食オーダー端末の導入は利用者や現場スタッフの業務軽減が主要目的であったが、導入効果はそれだけにとどまらない。国本マネージャーが手応えを感じているのが飲食売上げへの貢献だ。導入前に比べ約2割も飲食の売上げがアップしており、ここまで伸びるとは予想できなかったという。

また、飲食オーダー端末の導入により平日夜のスタッフ体制を5人から4人に減らして運営にあたっており、売上増と人件費削減を実現できている点も注目される。新店のオープンにより集客面で苦戦を強いられるなか、収益面での貢献が大きいことも国本マネージャーは強調する。

同店では顧客サービスの向上と運営効率化の観点から今後、自動受付機と自動精算機の導入も視野に入れており、競合店との差別化を図り、選ばれるカラオケ店を目指していくという。



▲シニアのグループ客(約30人)が毎週定期的にご利用するなど、幅広い層に支持されている

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温泉施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ
(株)スターランド

【本社】静岡県藤枝市青木3-14-1

【東京オフィス】東京都港区新橋3-9-10

【大阪オフィス】大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24

0120-007-009

FAX▶054-644-5034

URL▶http://www.starland.co.jp